

令和7年度 県土整備行政の概要

～ 共に考え、描き、創る 我が県土 ～
『一人ひとりが主人公、果敢に行動を！』



岩泉町：一般国道455号 乙茂工区開通
(令和7年2月 全工区完成)



大船渡市：三井オーシャン・フジ寄港
(令和7年4月 大船渡港)



西和賀町：一般国道107号大石地区
トンネルによる災害復旧事業
(令和7年3月時点)



釜石市：尾崎白浜の沢(9)
(令和6年7月完成)

岩手県県土整備部

目次

◆ 復興推進プラン・政策推進プラン・いわて建設業振興中期プラン2023	
1 復興推進プラン	1
2 政策推進プランと県土整備部の施策	2
3 いわて建設業振興中期プラン2023	4
◆ 令和7年度の重点施策	
I 東日本大震災津波からの復旧・復興事業の着実な推進	
1 災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくり	7
2 災害に強い交通ネットワークの構築	9
II 台風災害等への対応	
1 平成28年台風第10号災害	11
2 令和元年東日本台風災害	12
3 令和4年8月豪雨災害	13
4 大船渡市林野火災	14
III 快適で豊かな暮らしを支える生活環境づくり	
1 快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり	15
2 岩手で暮らす魅力を高め、移住・定住を促進	16
3 自然と調和した衛生的で快適な生活環境の保全	18
4 快適で魅力あるまちづくりの推進	20
IV 安全・安心を支える社会資本の整備	
1 ハード対策とソフト施策を効果的に組み合わせた防災・減災対策	21
2 災害に強い道路ネットワークの構築	27
3 日常生活を支える安全な道づくりの推進	29
V 産業や観光振興の基盤となる社会資本の整備	
1 産業振興や交流を支える道路整備	32
2 港湾の整備と利活用の促進	38
3 いわて花巻空港の機能拡充と利活用の促進	41
VI 生活を支える社会資本の維持管理	
1 社会資本の適切な維持管理等の推進	43
2 県民との協働による維持管理の推進	46
3 建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、経営基盤の強化	47
◆ その他の取組	
1 県土整備行政の魅力等、情報発信に関する取組	50
◆ 令和7年度県土整備部の予算	
1 一般会計予算と普通建設事業費の推移	56
2 県予算総額に占める土木費予算	57
3 県土整備部所管歳入歳出予算（一般会計、特別会計及び企業会計）	57
◆ 令和7年度県土整備部の組織	58

県土整備部キャッチコピー

～ 我が県土 ともに支え育む 希望郷 ～

岩手の雄大な自然を表す青い空と海、緑の県土、その上に立つ大勢の人々（県民）に射す光（希望）を描き、みんなで我が県土を支え育み、希望郷に向かうイメージを表現しています。



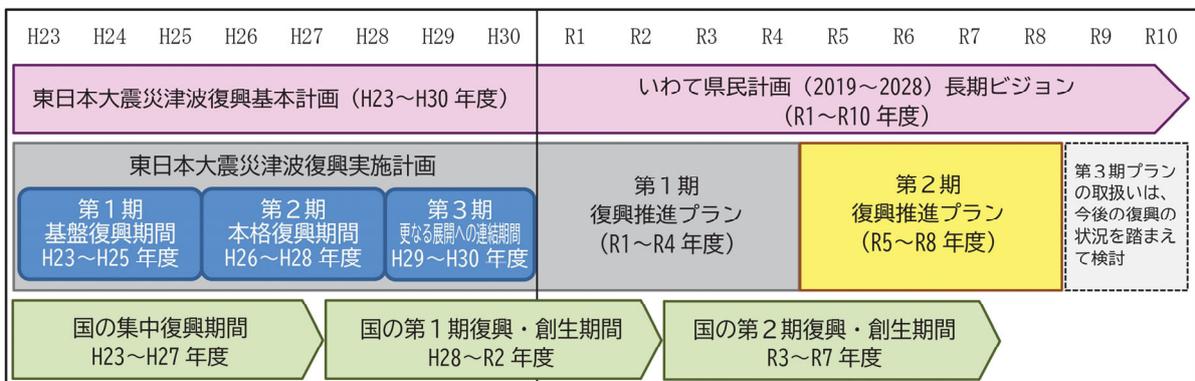
◆ 復興推進プラン・政策推進プラン・いわて建設業振興中期プラン2023

1 復興推進プラン

岩手県では、「いわて県民計画（2019～2028）」長期ビジョンにおいて、「岩手県東日本大震災津波復興計画」で掲げた「復興の目指す姿」を引き継ぎ、「より良い復興～4本の柱～」（「安全の確保」「暮らしの再生」「なりわいの再生」「未来のための伝承・発信」）のもと、復興の取組を推進することとしています。

この「復興の目指す姿」を実現するためのアクションプランとして、2019年度から2022年度までの第1期復興推進プランでは、より良い復興の実現に向けた取組を推進しました。

2023年度から2026年度までの第2期復興推進プランでは、これまでの取組の成果を踏まえ、長期ビジョンの「誰一人として取り残さない」という理念のもと、三陸のより良い復興の実現のために必要な取組を推進していきます。



「より良い復興～4本の柱～」と取組方向、復興の目指す姿

具体的取組

目指す姿

- ① 安全の確保
- ② 暮らしの再生
- ③ なりわいの再生
- ④ 未来のための伝承・発信

- 1 防災のまちづくり
 - ▶津波被害を最小限に抑えるため、津波防災施設の整備を推進
- 2 交通ネットワーク
 - ▶災害に強い道路ネットワークの構築のため、緊急輸送道路の整備、橋梁の耐震化、道路防災対策を推進
- 1 生活・雇用
- 2 保険・医療・福祉
- 3 教育・文化・スポーツ
- 4 地域コミュニティ
- 5 市町村行政機能支援
- 1 水産業・農林業
- 2 商工業
- 3 観光
- 1 事実・教訓の伝承
- 2 復興情報発信

いのちを守り
海と大地と共に生きる
ふるさと岩手・三陸の創造

2 政策推進プランと県土整備部の施策

岩手県では、「いわて県民計画（2019～2028）」（以下「計画」という。）の基本目標を「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」と決めました。

計画では、県民一人ひとりがお互いに支え合いながら、幸福を追求することができる地域社会を実現するために「10の政策分野」（「健康・余暇」「家族・子育て」「教育」「居住環境・コミュニティ」「安全」「仕事・収入」「歴史・文化」「自然環境」とこれらの分野を下支えする共通の土台としての「社会基盤」「参画」）を設定するとともに、各政策分野に、幸福に関連する客観的指標（いわて幸福関連指標）を定め、一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開していくこととしています。このうち、県土整備部は、主に「居住環境・コミュニティ」と「社会基盤」の分野において政策を推進します。

また、計画で設定した10の政策分野に基づく取組を推進するためのアクションプランである第1期政策推進プランに掲げる施策の推進に取り組みました。

その成果と課題、社会経済情勢の変化、市町村長との意見交換や各団体からの意見聴取の結果等を踏まえ、第2期政策推進プラン（計画期間：2023年度～2026年度）においては「人口減少対策」に最優先で取り組むこととし、今後4年間に取組を強化すべき項目として「自然減・社会減対策」、「GX（グリーン・トランスフォーメーション）の推進」、「DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進」、「安心・安全な地域づくり」の4つの重点事項を掲げています。

○ いわて県民計画（2019～2028）の概要

いわて県民計画（2019～2028）の基本目標

**東日本大震災津波の経験に基づき、
引き続き復興に取り組みながら、
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて**

10の政策分野

① 健康・余暇

② 家族・子育て

③ 教育

④ 居住環境・コミュニティ

⑤ 安全

⑥ 仕事・収入

⑦ 歴史・文化

⑧ 自然環境

⑨ 社会基盤

⑩ 参画

○ 第2期政策推進プランにおいて県土整備部が関係する主な政策分野

県土整備部が関係する主な政策分野と政策項目

③ 教育

18 地域に貢献する人材を育てます

④ 居住環境・コミュニティ

21 快適で豊かな暮らしを支える生活環境をつくります

24 岩手で暮らす魅力を高め、移住・定住を促進します

⑥ 仕事・収入

32 地域経済を支える中小企業の振興を図ります

⑧ 自然環境

44 地球温暖化防止に向け、脱炭素社会の形成を進めます

⑨ 社会基盤

46 安全・安心を支える社会資本を整備します

47 産業や観光振興の基盤となる社会資本を整備します

48 生活を支える社会資本を良好に維持管理し、次世代に引き継ぎます

○ 第2期政策推進プランでの重点事項

人口減少対策に取り組む上での「重点事項」

【重点事項1】 性別にかかわらず誰もが活躍できる環境づくりを進めながら、結婚・子育てなどライフステージに応じた支援や移住・定住施策を強化します

【重点事項2】 GX(グリーン・トランスフォーメーション)を推進し、カーボンニュートラルと持続可能な新しい成長を目指します

【重点事項3】 DX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進し、デジタル社会における県民の暮らしの向上と産業振興を図ります

【重点事項4】 災害や新興感染症など様々なリスクに対応できる安全・安心な地域づくりを推進します

※ 県土整備行政の概要では、4つの重点事項をそれぞれ以下のとおり示します。

重点事項1： **自然減・社会減対策**

重点事項2： **GX**

重点事項3： **DX**

重点事項4： **安全・安心**

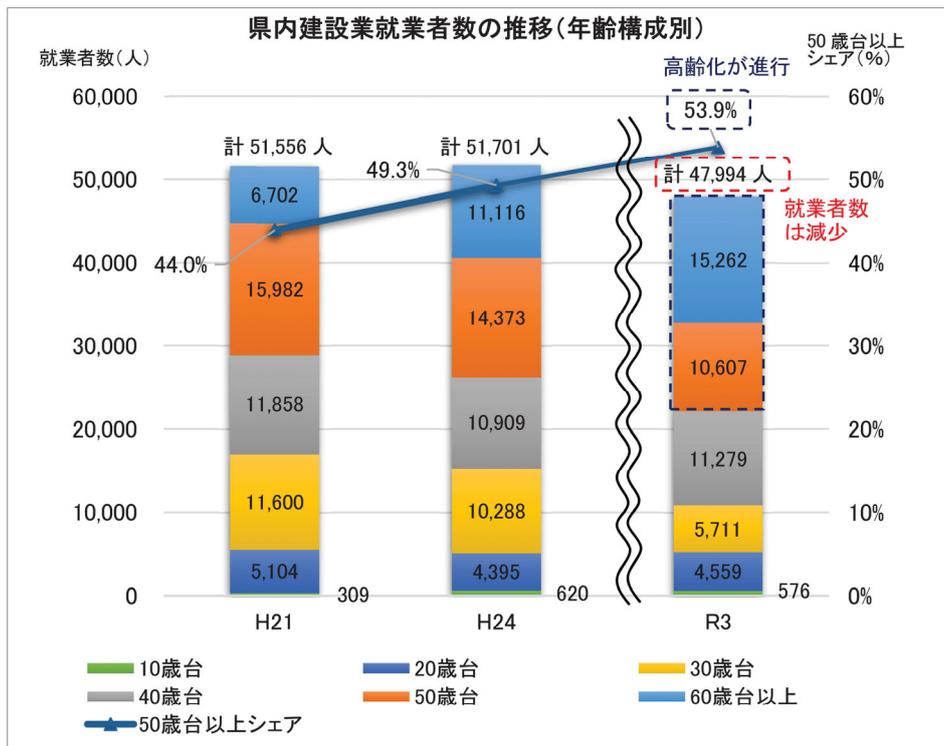
3 いわて建設業振興中期プラン2023

1 いわて建設業振興中期プラン2023の概要

岩手県内の建設業は、50歳台以上の就業者が5割を超え、高齢化が進行しており、今後見込まれる大量退職による担い手の不足が深刻となっています。

一方で、地域の建設企業は、社会資本整備のほか、自然災害や家畜伝染病発生時の危機管理対応など、インフラの維持管理の担い手であり、地域経済を支える役割も有しています。

いわて建設業振興中期プラン2023では、県内建設企業が、取り巻く社会経済情勢の変化においても、地域から期待される役割を将来にわたって果たしていけるよう、目指すべき姿を明らかにし、その実現のため、岩手県、建設企業、建設業団体が一体的に取り組む内容を示しています。



(出典 経済センサス活動調査、岩手県建設業構造実態調査)

※年齢構成ごとの人数は、経済センサス活動調査の就業者数計に岩手県建設業構造実態調査による年齢構成割合をかけて推計値として算出。

2 計画期間

令和5年度から令和8年度までの4年間

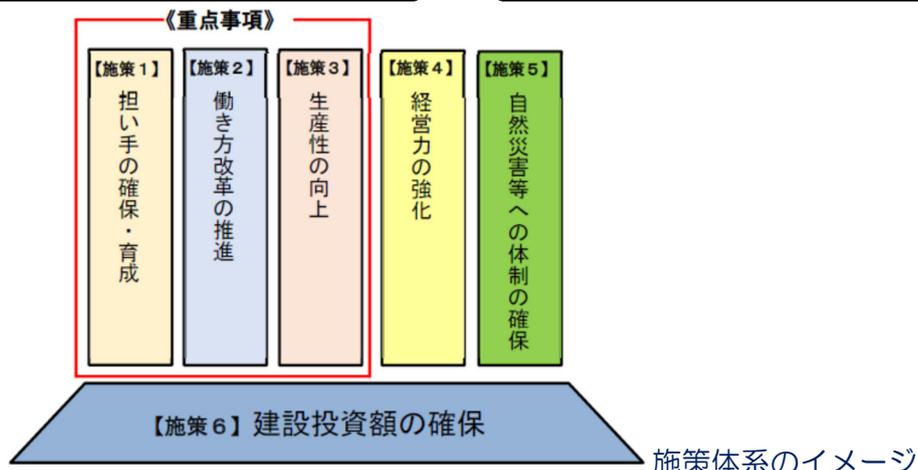
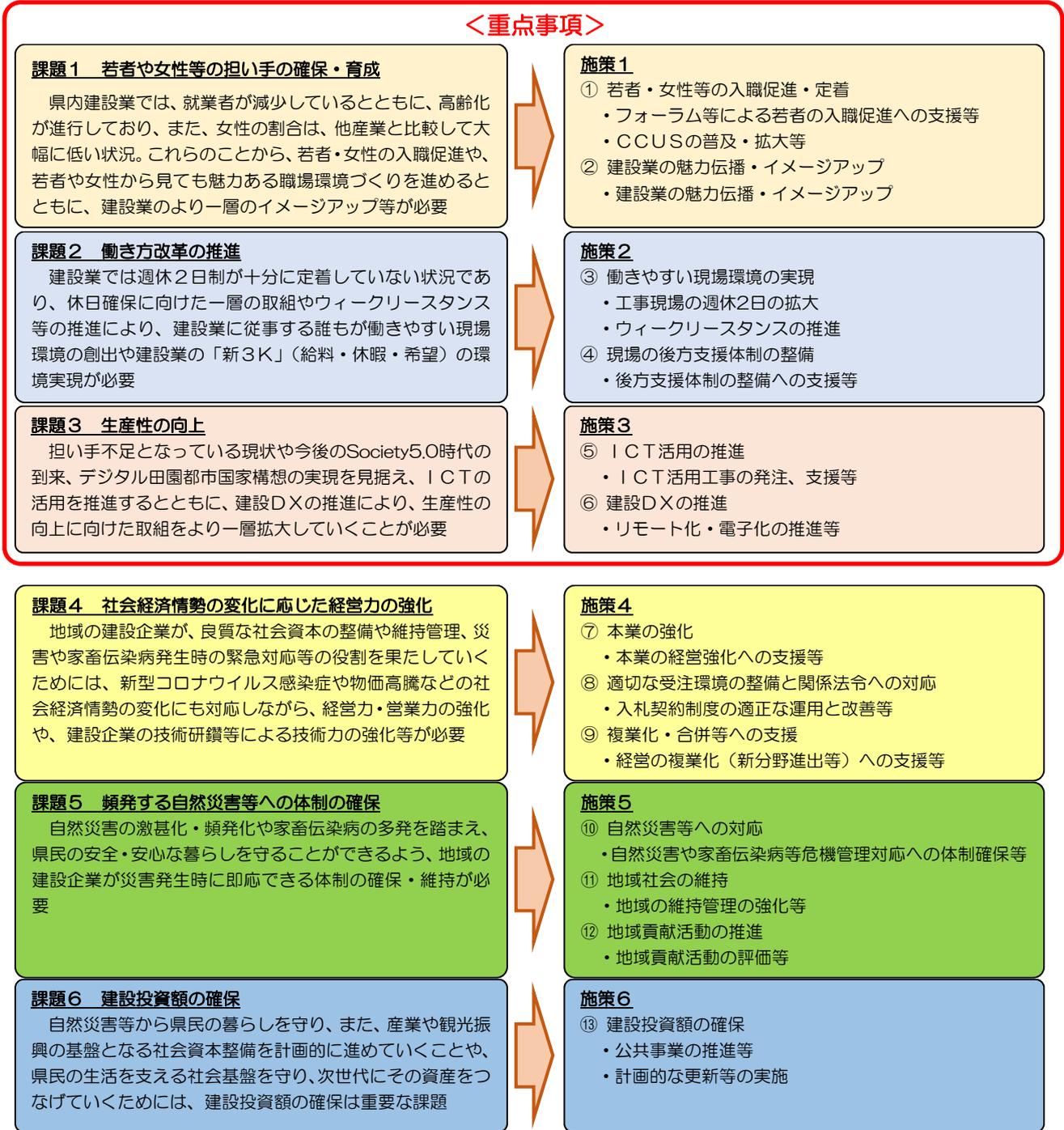
3 対象

- ・ 土木・建築等の工事の種類や公共・民間工事の別にかかわらず、建設業を営む者
- ・ 測量、地質調査、建設コンサルタント等の建設関連業を営む者

4 地域の建設企業が目指すべき姿

県民の豊かで安全・安心な暮らしを創り、守る、
県民の幸福の追求をしっかりと支える建設企業

○ 課題と取り組む13の施策



◆ 令和7年度の重点施策

I 東日本大震災津波からの復旧・復興事業の着実な推進

事業 主体	復旧・整備計画箇所数			
		うち工事中箇所数	うち完了箇所数	(進捗率)
岩手県	113	1	112	(99.1%)
市町村	29	0	29	(100.0%)
合計	142	1	141	(99.2%)

社会資本の復旧・整備状況（令和7年3月末現在）

これまでの主な完了事業

安全の確保（防災まちづくり）

まちづくり（面整備）事業
158地区、7,472区画 完成済



宮古市田老地区乙部団地
(防災集団移転促進事業)



大槌町町方地区
(土地区画整理事業・
津波復興拠点整備事業)

暮らしの再建（住環境支援）

災害公営住宅事業
203箇所、5,883戸 完成済



県営柄ヶ沢アパート
(陸前高田市)



県営南青山アパート
(盛岡市)

なりわいの再生（観光）

根浜海岸砂浜再生事業 工事完了・供用済



未来のための伝承・発信

高田松原津波復興祈念公園 令和3年12月全面供用



1 災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくり

多重防災型まちづくりの推進

- 湾口防波堤や防潮堤等の復旧・整備を進めるとともに、水門・陸閘操作等の遠隔化・自動化を図り、概ね数十年から百数十年に一度の頻度で起こり得る津波に対応できる津波防災施設の整備を推進します。
- 施設整備に当たっては、早期に効果が発現するよう、様々な事業を一体的に進めます。
- こうしたハード整備と併せて、安全な避難体制の構築等ソフト施策を効果的に組み合わせ、多重防災型まちづくりを推進します。

海岸保全施設の復旧・整備状況

【令和7年度実施内容】

○ 津波防災施設（国土交通省所管海岸）の復旧・整備

閉伊川水門（宮古市）の整備推進

令和7年3月末時点

所管	全体計画		完成	
	要整備延長 (km)	海岸数 (箇所)	整備済 (km)	海岸数 (箇所)
水管理・国土保全局	27.1	56	27.0	55
港湾局	16.1	17	16.1	17
国土交通省所管 計	43.2	73	43.1	72



令和5年度完成
普金地区海岸（大船渡市）

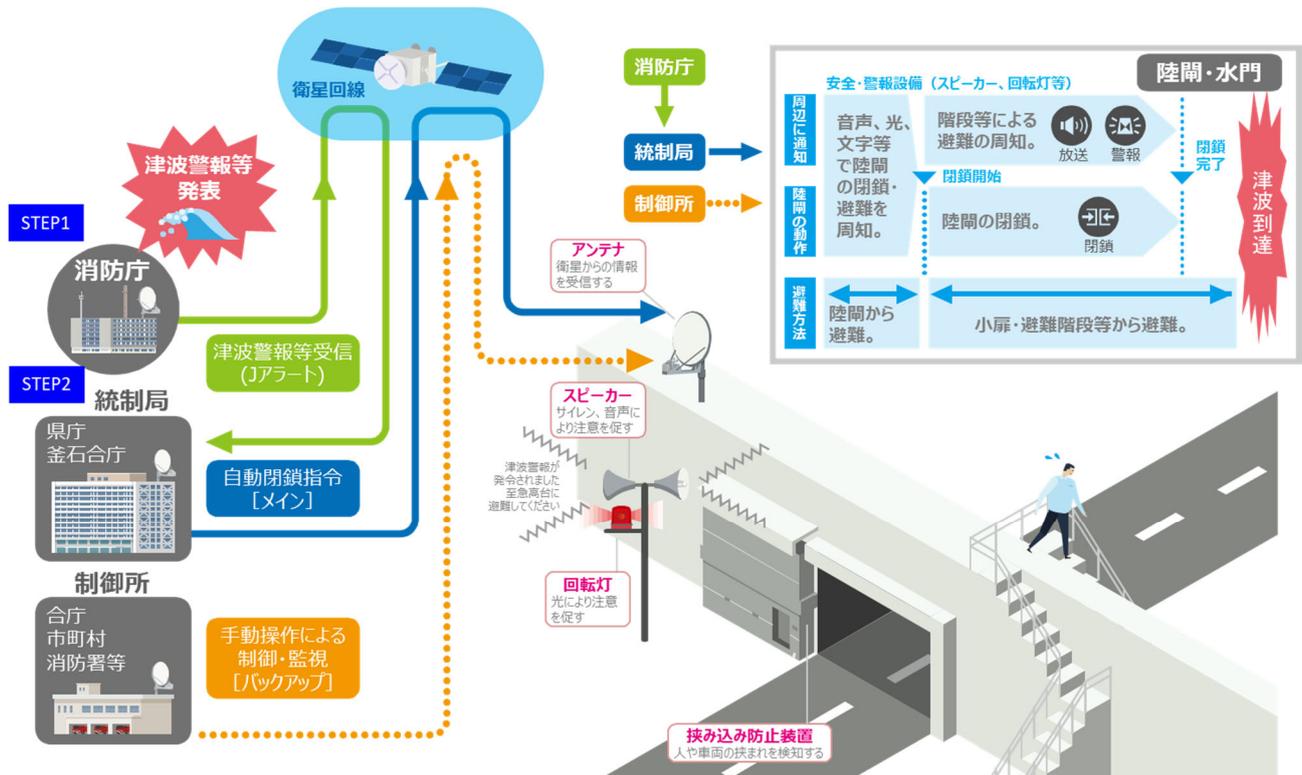


令和8年度完成予定
閉伊川水門（宮古市）

水門・陸閘自動閉鎖システムの整備

- 東日本大震災津波時の水門閉鎖等において、岩手県では48名の消防団員が犠牲になりました。
- 操作員の安全確保のため、操作の遠隔化、通信・電源の多重化を図ることとして、水門・陸閘自動閉鎖システムの整備を進めています。
- 平成29年7月から一部で運用を開始し、令和6年度末時点で213基の水門や陸閘で運用しています。

水門・陸閘自動閉鎖システムの概要



令和4年1月16日のトンガ諸島付近の海底火山噴火に伴う津波警報発表の際は、運用開始後初めて自動閉鎖システムが稼働し、当時、運用中だった全165基の水門・陸閘が自動閉鎖しました。



鵜住居川水門の閉鎖状況（釜石市）



岩手県庁（第1統制局）での動作確認状況

2 災害に強い交通ネットワークの構築

- ・ 国により整備が進められてきた復興道路は、令和3年度に全線開通しました。
- ・ また、岩手県が進めてきた内陸部から三陸沿岸地域へのアクセス道路やインターチェンジへのアクセス道路、水産業等の復興を支援する道路等は、令和4年度に全線が開通しました。
- ・ 今後は、災害に強い道路ネットワークを構築するため、高規格道路を補完する道路等の整備を推進します。

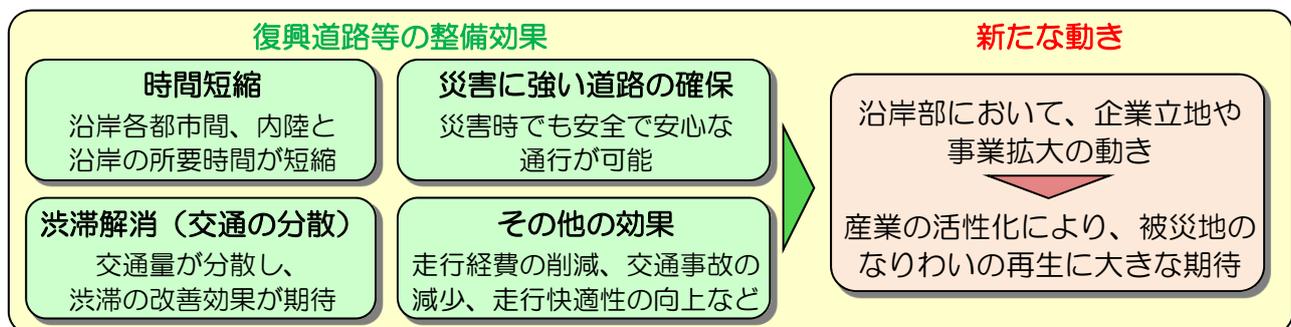
○ 復興関連道路（実施主体：岩手県）



令和4年度完成 一般県道丸森権現堂線 下船渡地区（大船渡市）

○ 復興道路等の整備状況

復興道路等		計画 (A)	供用 (B)	供用率 (B/A)
復興道路	・ 三陸沿岸地域の縦貫軸と内陸部と三陸沿岸地域を結ぶ横断軸の高規格路等	359km	359km	100.0%
復興支援道路	・ 内陸部から三陸沿岸各都市にアクセスする道路 ・ 横断軸間を南北に連絡する道路 ・ インターチェンジにアクセスする道路	38箇所	38箇所	100.0%
復興関連道路	・ 三陸沿岸地域の防災拠点や医療拠点へアクセスする道路 ・ 水産業を支援する道路	20箇所	20箇所	100.0%



○ 復興道路沿線の状況



道の駅「いわて北三陸」オープン
(令和5年4月19日)

東日本大震災津波伝承館
いわてTSUNAMIメモリアル

令和元年9月22日開館

来館者数

1,200,000人

ありがとうございます。

令和7年5月1日(木)

東日本大震災津波伝承館
来館者120万人突破
(令和7年5月1日)

○ 復興道路等の整備効果

(1) 三陸沿岸道路沿線の物流の変化



出典：東北地方整備局
工場立地動向調査
(令和5年3月10日)

(2) 復興道路等を利用した観光振興

三井オーシャン・フジ
大船渡港初寄港・写真左側
アイダ・ステラ
宮古港初寄港・写真右側
(令和7年4月)



Ⅱ 台風災害等への対応

1 平成28年台風第10号災害への対応

① 被害状況

平成28年8月30日、台風第10号上陸に伴う大雨、暴風、波浪により、久慈市、岩泉町、宮古市など沿岸部を中心に、甚大な被害が発生しました。



久慈市内の被害状況



小本川流域の被害状況（岩泉町）



国道106号の被害状況（宮古市）

② 洪水対策

安全・安心

河川では、岩泉町の小本川等が氾濫し、多数の家屋が浸水する等、甚大な被害が発生しました。このことから、河川施設の復旧に併せて治水安全度を向上させるため、小本川などに導入した河川改修事業では、令和5年度までに長沢川など4河川が完了しました。令和7年度は、小本川で河道拡幅や護岸の整備を進め、家屋の床上浸水被害等の解消を図ります。なお、河道内の堆積土砂や立木の除去を継続して計画的に実施しています。



小本川 市街地区 施工状況（岩泉町）



小本川 流木捕捉工 完成（岩泉町）

③ 土砂災害対策

安全・安心

土砂災害は、岩泉町を中心に岩手県内155箇所が発生し、家屋等に甚大な被害を及ぼしました。このことから、土石流による家屋への被害が大きかった箇所等で、砂防堰堤を整備しています。今後の出水により、下流に著しい被害を与えるおそれがある岩泉町内14箇所では、平成29年度から砂防激甚災害対策特別緊急事業等を導入して整備を進め、令和6年3月までに13箇所が完成しました。令和7年度は、岩泉町本銅口の沢において、砂防堰堤工事等を実施します。



被害状況：本銅口の沢（岩泉町）



砂防堰堤完成状況：大沢（6）（岩泉町）

2 令和元年東日本台風災害への対応

① 被害状況

令和元年10月12日から13日にかけて岩手県に接近した台風第19号により沿岸の広い範囲で記録的な大雨となり、沿岸部を中心に甚大な被害が発生しました。



主要地方道重茂半島線の崩落（宮古市）



土石流の発生（釜石市）

② 洪水対策等 安全・安心

溢水による浸水被害が発生した小屋畑川（久慈市）などでは、早期の治水安全度向上のため、令和3年度から浸水対策重点地域緊急事業を導入し、河川の切替え等を推進しています。



被害状況：小屋畑川（久慈市）



小屋畑川 河川切替え等の施工状況（久慈市）



③ 土砂災害対策 安全・安心

土砂災害は、釜石市を中心に岩手県内98箇所で発生し、家屋等に甚大な被害を及ぼしました。このことから、土石流による家屋への被害が大きかった箇所等で、砂防堰堤を整備しています。今後の出水により、下流に著しい被害を与えるおそれがある沿岸地域17箇所では、令和2年度から砂防激甚災害対策特別緊急事業を導入して整備を進め、令和6年3月までに全箇所が完成しました。

<砂防堰堤完成状況>



田ノ浜沢（3）（山田町）



尾崎白浜の沢（6）（釜石市）

3 令和4年8月豪雨災害への対応

① 被害状況

令和4年8月3日の豪雨により、久慈市、一戸町、葛巻町など県北部を中心に、甚大な被害が発生しました。



一戸町内の被害状況



一般県道姉帯戸田線の被害状況（一戸町）

② 洪水対策

安全・安心

河川では、一戸町の馬淵川等が氾濫し、多数の家屋が浸水する等、甚大な被害が発生しました。このことから、河道断面を確保するため、堆積土砂の掘削等を進めています。

また、河川施設の復旧に併せて、治水安全度を向上させるため河川改修を実施します。

令和7年度は、岩手県で初めてとなる「特定都市河川」の指定に向け、関係市町と連携し取り組んでいきます。



馬淵川 市街地付近の出水状況（一戸町）



岩根橋付近の浸水状況（一戸町）

③ 土砂災害対策

安全・安心

土砂災害は、一戸町を中心に岩手県内6箇所が発生し、このうち、土石流による家屋への被害が大きかった箇所等で、砂防堰堤を整備します。

今後の出水により、下流に著しい被害を与えるおそれがある3箇所では、災害関連緊急砂防事業等を導入して整備を進め、洗場沢、小安孫沢については、令和6年10月に強靱ワイヤーネットによる緊急対策が完了しました。

令和7年度は、葛巻町岩泉町の国境の沢(8)において、砂防堰堤工事等を実施します。



被害状況：国境の沢（8）（岩泉町）

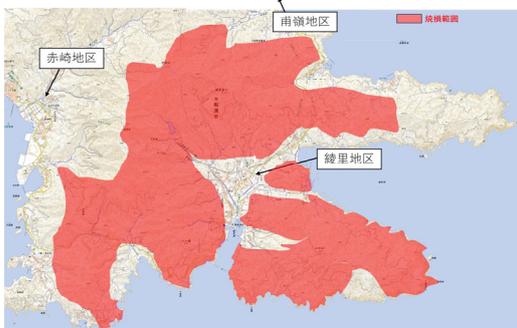


緊急対策完了状況：小安孫沢（葛巻町）

4 大船渡市林野火災への対応

① 被害状況

令和7年2月26日に大船渡市で発生した林野火災では、焼損面積が約3,370ヘクタール、住家や水産関連施設等も被災するなど、甚大な被害が発生しました。



大船渡市内の被害状況



森林の焼損状況（大船渡市綾里地区）

県では、今後の復旧・復興に向け取り組むべき課題として、「くらしの再建」、「なりわいの再生」、「インフラの整備」の3つの柱を掲げ、取組を推進しています。

② 住宅の確保

「くらしの再建」として、大船渡市からの要請を踏まえ2地区に応急仮設住宅を建設し、5月17日から入居が始まっています。



応急仮設住宅の整備状況（旧綾里中学校）



応急仮設住宅の整備状況（旧蛸ノ浦小学校）

③ 土砂災害対策 安全・安心

「インフラの整備」として、流域の森林の過半が焼損した土砂災害警戒区域において、森林が復旧するまでの間、土石流被害の防止・軽減を図るための緊急的な対策等を進めています。

また、今後の出水により、下流に著しい被害を与えるおそれがある5箇所では、災害関連緊急砂防事業等を導入して整備を進めます。



被害状況：坂本の沢（大船渡市）



被害状況：石浜の沢（4）（大船渡市）

Ⅲ 快適で豊かな暮らしを支える生活環境づくり

1 快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり

- ・ 県産木材を活用するなど岩手らしさや高い断熱性能を備えた岩手型住宅の普及等により、快適で安全な住宅の普及を促進します。
- ・ 公営住宅のバリアフリー化及び省エネ化等性能向上を推進します。
- ・ 空き家バンクの円滑な利活用に向けた市町村支援を進めるとともに、若者や移住者などへの空き家住宅の取得等に対する支援に取り組みます。
- ・ 岩手県住宅マスタープランの基本目標の「お互いに幸福を守り育てる『いわての住まい』の実現」を推進します。

岩手型住宅の普及に向けた取組について

【令和7年度実施内容】 自然減・社会減対策 **GX**

○ ZEH+水準を推奨する岩手型住宅の普及

岩手県では、「さらなる省エネ性能」を持ち、県産木材の活用などの「岩手らしさ」を考慮した「岩手型住宅ガイドライン」を令和6年3月に改訂し、住宅の省エネ性能を「ZEH+」の水準に変更するとともに、住宅の機密性能や省エネ住宅の健康面等での効果の内容を盛り込みました。

【さらなる省エネ性能】

断熱等性能等級6、7（ZEH+の水準）
相当隙間面積C値1.0cm²/m²以下

【岩手らしさ】

県産木材の活用
地域性への配慮



県産木材の活用



地域性への配慮
(住み継がれる住宅)

【岩手型住宅の普及】

- ① 住情報の提供（岩手型住宅Facebook等の活用）
- ② 岩手型住宅の体感（住宅見学会等の実施）
- ③ 住教育の実施（中学生を対象とした「住まいの温熱環境測定体験学習」の実施）
- ④ 岩手型住宅賛同事業者の募集
- ⑤ 講習会の実施（省エネルギー住宅技術普及促進支援セミナーの開催）
- ⑥ 補助事業の実施

対象住宅	事業名	事業内容
新築	いわて省エネルギー住宅建設推進事業	省エネ性能の高い住宅の建設に要する経費に対して補助します。
改修	住まいの省エネルギー改修推進事業	省エネ改修等に要する経費に対して補助します。
新築・改修	住みたい岩手の家づくり促進事業	県産木材を使用した住宅の性能証明書（省エネ・バリアフリー）取得に対する経費に対して補助します。

岩手県公営住宅長寿命化計画に基づく修繕の取組状況

【令和7年度実施内容】 **安全・安心**

○ 県営住宅の性能向上のための修繕・改善、県営住宅の管理戸数の適正化

- ・ 県営銅谷アパート（2号棟）リフレッシュ工事やエレベーター改修など6棟の事業を実施
- ・ 管理戸数の適正化、集約・再編に向けての検討

長寿命化改善等により、計画的かつ確実な維持管理・事業を推進し、長期間にわたる有効活用とライフサイクルコストの縮減を図る

長寿命化計画期間の事業手法別戸数

公営住宅管理戸数	6,894
維持管理予定戸数	6,376
リフレッシュ改善	178
給排水・外壁改善	128
EV改善（基）	22
新規整備事業予定戸数	0
建て替え事業予定戸数	0
用途廃止予定戸数	518



老朽化した公営住宅



改修事業（バリアフリー化・省エネ化等性能の向上）



設備の老朽化



福祉対応・居住性向上改善

2 岩手で暮らす魅力を高め、移住・定住を促進

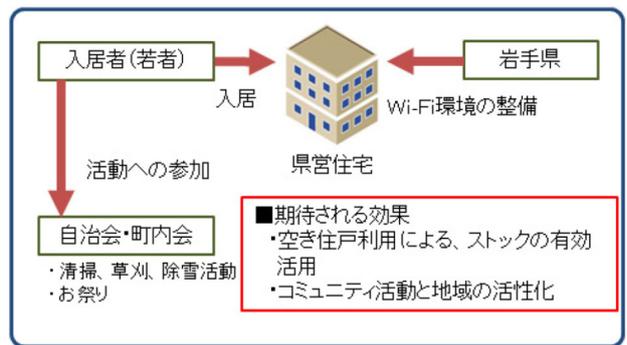
・ 県営住宅のストックを活用し、移住希望者や若者などが安心して生活できる環境を提供します。

移住・定住に向けた取組について

【令和7年度実施内容】 **自然減・社会減対策**

○ 若者への住宅支援を通じて、若者の地元定住を推進（若者・地域応援住宅支援事業）

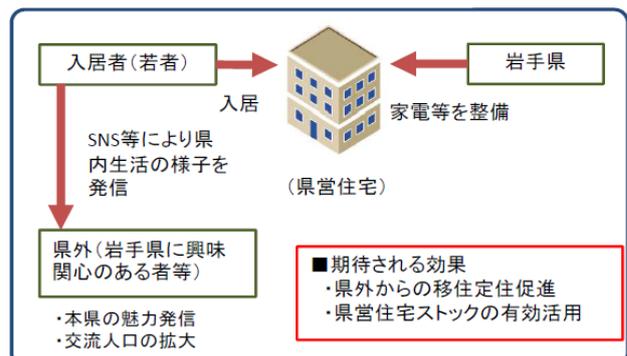
- ・ 若年層の県営住宅の家賃負担を軽減
- ・ Wi-Fi通信環境を整備
- ・ 募集予定：30戸（県内全地区）



【令和7年度実施内容】 **自然減・社会減対策**

○ 岩手県外からの移住者に対し、家電等を設置した県営住宅を低廉な家賃で貸し出すことで、移住定住を促進（いわてお試し居住体験事業）

- ・ 岩手県公式SNSでの情報発信が入居条件（県内での生活における魅力発信）
- ・ 募集予定：35戸（県内全地区）
うち、子育て枠10戸、担い手育成枠5戸



【その他】 県営施設の営繕

県立病院や教育施設等といった公共建築物について、施設所管部局と連携し、以下の観点を踏まえ整備を推進します。

○新営施設では、ユニバーサルデザインの積極的な導入を図るとともに、既存施設については、改修時等の機会を捉えて、誰もが利用しやすい公共施設の整備を推進。

○県有施設の脱炭素化の基本方針に基づく新築建築物のZEB化や、太陽光発電・LED照明の導入を推進。

また、公共施設利用者が長く、より快適に施設を利用できるよう、各施設所管部局が岩手県公共施設等総合管理計画等に基づき実施する維持管理や長寿命化の取組を支援します。



■令和5年度事例（R5.5月完成）

- ①施設名
第73回全国植樹祭お野立所（陸前高田市）
- ②総工費
約4,340万円
- ③面積
敷地面積：23,673m²、延べ面積：63m²
- ④構造
鉄骨造（S）

■令和4年度事例（R4.8月完成）

- ①施設名
県立釜石祥雲支援学校（釜石市）
- ②総工費
約21億7,428万円
- ③面積
敷地面積：28,030m²、延べ面積：5,507m²
- ④構造
木造（W） 一部鉄筋コンクリート造（RC）



■令和3年度事例（R3.4月完成）

- ①施設名
県立平泉世界遺産ガイドランスセンター（平泉町）
- ②総工費
約12億7,059万円
- ③面積
敷地面積：8,139m²、延べ面積：2,425m²
- ④構造
鉄筋コンクリート造（RC）

3 自然と調和した衛生的で快適な生活環境の保全

- 人口減少等の影響を考慮しつつ、市町村との連携による、地域の実情に合った効率的な汚水処理施設の整備を推進します。
- 汚水処理施設の持続的な運営を図るため、流域下水道事業の経営改善に取り組むとともに、下水道事業等の効率的な経営への助言や、広域化・共同化計画に基づく市町村の取組を促進します。
- 豊かな水資源の保全や汚水処理の必要性についての住民理解を深めるため、啓発活動を推進します。

【令和7年度実施内容】

- 令和7年度末における汚水処理人口普及率目標：91.0%
- 流域下水道事業の経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る
令和2年4月から地方公営企業法の財務規定等を適用し、中長期的な経営見通しの適切な把握、安定した流域下水道サービスの提供等の取組を推進
- 令和4年度に策定した汚水処理の効率的な事業運営に向けた「岩手県汚水処理事業広域化・共同化計画」に基づき、汚水処理施設の統廃合等の取組を推進
- 豊かな水資源の保全や汚水処理の必要性について、住民理解を深めるため啓発活動を推進する下水道及び浄化槽の役割と仕組みについて学習する学校等への「出前講座」を実施

汚水処理人口普及率

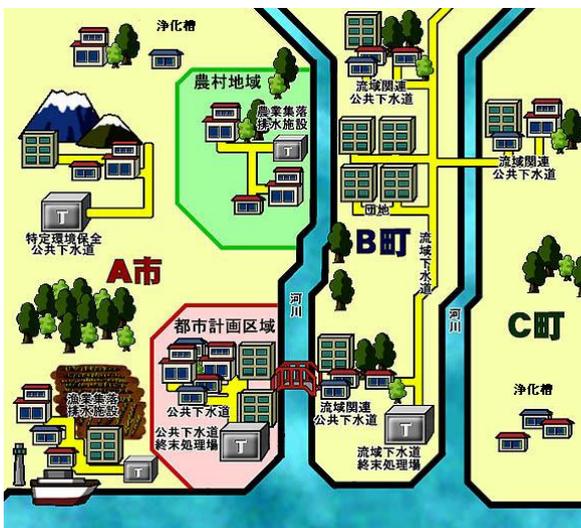
計画と実績

単位：%

区分	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
計画	81.3	82.5	81.7	82.7	83.9	85.2	86.5	87.9	89.4	91.0
実績	79.8	80.8	81.6	82.6	83.6	84.4	84.9	85.4		

注1) H29までは「いわて汚水処理ビジョン2010」、以降は「いわて汚水処理ビジョン2017」の計画期間
2) 最新の実績値は、令和5年度末

汚水処理の概念図



小学生を対象とした出前講座の様子



岩手県汚水処理事業広域化・共同化計画の取組

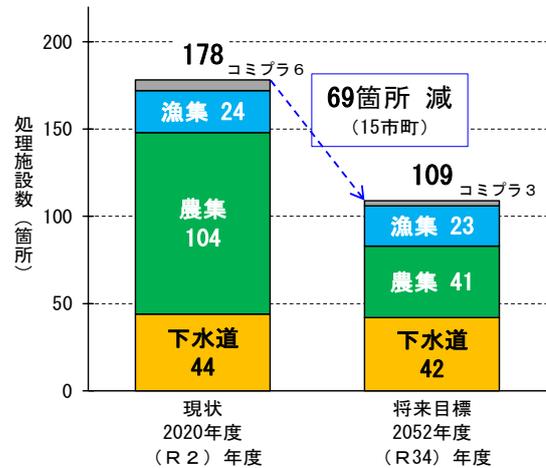
◆ 計画の背景・目的

人口減少に伴う使用料収入の減少、施設等の老朽化に伴う大量更新期の到来など、汚水処理事業の経営環境は厳しさを増しています。事業の効率化を図り、持続可能な運営を行うためには、地域や市町村の枠を超えた「施設の広域化」や「維持管理の共同化」が有効であることから、県と市町村が連携し、令和4年8月に策定した「岩手県汚水処理事業広域化・共同化計画」に基づき、取組を推進します。

◆ 広域化・共同化計画の具体的な取組

- ① 汚水処理施設の統廃合
- ② 汚泥処理の共同化
- ③ 処理場等の維持管理の共同化
- ④ システム整備等の維持管理の共同化
- ⑤ ソフト面の共同化

① 汚水処理施設の統廃合の将来目標



【令和7年度実施内容】

- ・ 市町村の農業集落排水施設の統廃合に関する調整等の支援
- ・ 「情報収集・提供」や「先進事例の紹介」等を通じて各取組の課題解決を支援

流域下水道事業の整備

◆ 流域下水道の概要

北上川流域内の10市町を対象に、昭和49年から整備を開始し、令和5年度の鶯宿幹線の整備完了をもって、全幹線が完了しました。

◆ 鶯宿幹線の概要

鶯宿幹線は、主に雫石町内生活環境の改善と公共用水域の水質汚濁防止のため、御所ダム沿線の町場地区から鶯宿温泉までの公共下水道の普及を目的とし、令和5年度に整備が完了しました。

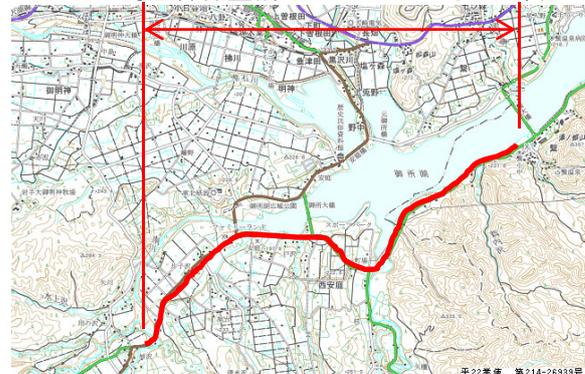
◆ 事業概要

- ・ 整備延長 7.6km
(圧送管φ100~150mm×2条)
- ・ 事業費 11.5億円
- ・ 事業期間 平成15年度~令和5年度

◆ 効果

- ・ 新たに1,700m³/日(時間最大)程度の汚水流入に対する処理が可能
- ・ 主に御所ダムの水質汚濁の防止に寄与

鶯宿幹線整備延長 7.6km (×2条)



管渠敷設状況写真



4 快適で魅力あるまちづくりの推進

- 魅力あるまちづくりを推進するため、渋滞緩和等の都市交通の円滑化や快適な都市空間の創出に資する都市計画道路の整備等に取り組みます。
- 市町村、事業者、県民と連携・協働し良好な景観の形成を図るため、子どものまち歩きによる景観学習や住民活動による景観点検などに取り組みます。また、県内外に岩手県の景観のすばらしさを伝える取組として、「希望郷いわて景観フォトコンテスト」を開催します。

【令和7年度実施内容】

○ 街路事業

- 都市計画道路盛岡駅本宮線（盛岡市）など4箇所事業を実施



整備中

都市計画道路 盛岡駅本宮線 杜の大橋（盛岡市）



令和5年12月供用済み

都市計画道路 荒瀬上田面線 岩谷橋（二戸市）



整備前

都市計画道路 盛岡駅長田町線（盛岡市）



平成30年4月完成

○ 景観の取組



景観学習（景観シートの作成）



景観点検（ワークショップの様子）

② ハード対策（洪水）

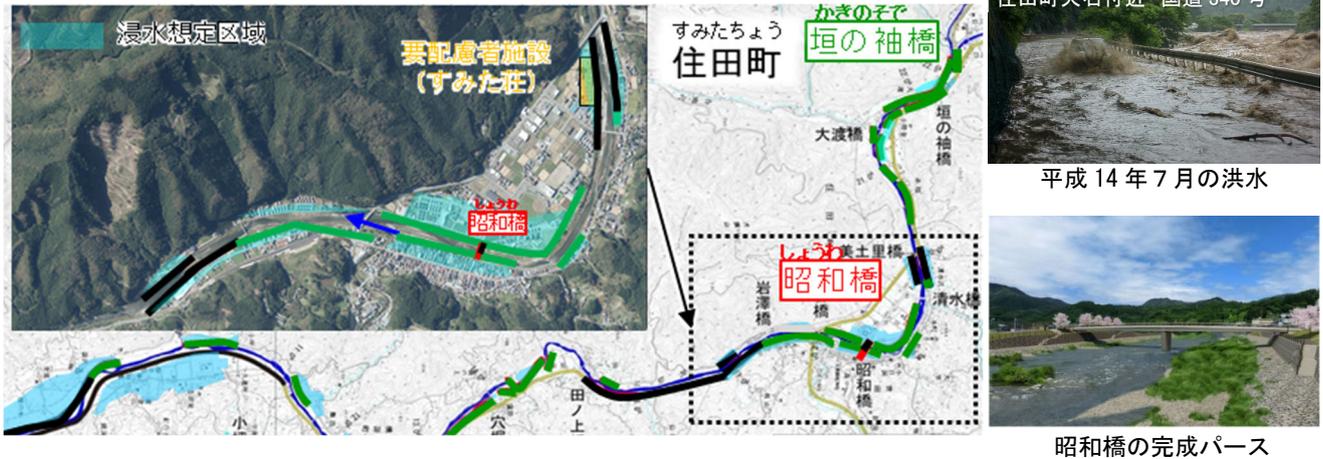
- 河川改修を進め、洪水災害に対する安全度の向上を図ります。
- 河道内の堆積土砂掘削や立ち木伐採を実施します。

【令和7年度実施内容】 安全・安心

○ 河川改修事業等

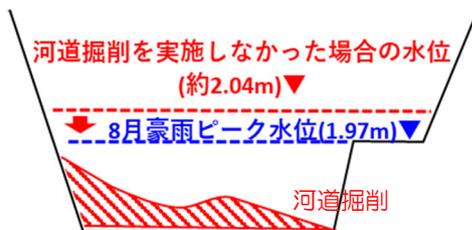
- 気仙川（住田町）・木賊川（盛岡市、滝沢市）等において、河川改修を実施
- 堆積土砂掘削、立ち木伐採等を着実に実施

《再度災害防止対策》 二級河川気仙川（住田町）



《防災・減災対策（河道掘削）》二級河川宇部川（野田村）

- 令和7年度 河道掘削実施予定河川数 35河川 注：実施予定河川は変更となる場合があること



低水路部における流下断面が
20%拡大したことにより
約0.1m 水位低減

③ **ハード対策（土砂災害）**

- 土砂災害による被害の軽減を図るため、砂防堰堤、急傾斜地崩壊対策施設等のハード整備に取り組みます。

【令和7年度実施内容】 **安全・安心**

土砂災害による被害の軽減を図るための砂防堰堤等の整備や既存堰堤の老朽化対策等を推進します。

大規模特定砂防等事業（補助）砂防



荒廃状況

R7：砂防堰堤工事

土石流被害を未然に防止するために砂防堰堤を整備
高森の沢（滝沢市大釜地区）

事業間連携砂防等事業（補助）砂防



完成イメージパース

R7：砂防堰堤工事

岩手山火山噴火に対応する砂防施設を整備
外水沢（八幡平市平笠地区）

防災・安全交付金事業（重点）砂防



令和4年8月豪雨による土砂流出状況

家屋

R7：砂防堰堤工事

令和4年8月豪雨被害を受け砂防施設を整備
国境の沢（8）（岩泉町国境地区）

防災・安全交付金事業（重点）急傾斜



現地状況

家屋

R7：斜面崩壊対策工事

崩壊の恐れのある斜面への急傾斜地崩壊対策施設を整備
源太沢・源太沢（3）（釜石市釜石地区）

砂防メンテナンス事業（補助）砂防



老朽化対策が必要な砂防堰堤（石積）

R7：砂防堰堤改築工事

砂防施設等の老朽化に伴う修繕・改築を実施
長山砂防堰堤（雫石町）

砂防設備修繕（浚渫債）



砂防堰堤の土砂堆積状況

R7：土砂撤去工事

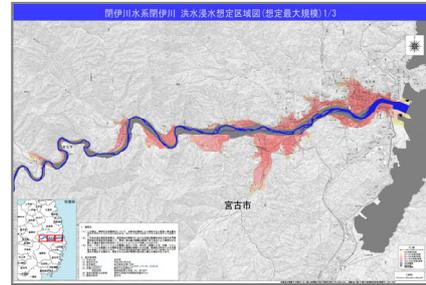
砂防施設内に堆積した土砂の撤去を実施
猫川流路工（遠野市）

④ ソフト施策（洪水）

- 安全な避難体制の構築に向けて、洪水浸水想定区域や水位周知河川の指定等を進め、河川の水位や水害リスク等に係る防災情報の充実強化を図ります。

【令和7年度実施内容】 安全・安心

- 県管理河川における洪水浸水想定区域の指定河川数
 - 令和6年度末時点指定済み：213河川
 - 令和7年度末までに要指定の全294河川を指定予定
- 県管理河川における水位周知河川の指定河川数
 - 令和6年度末時点指定済み：47河川61区間
 - 令和7年度指定予定：4河川5区間



【図】洪水浸水想定区域

水位等のリアルタイム情報提供

岩手県河川情報システム

河川の水位、雨量、ダムの水位、河川のカメラ画像を提供しています。



岩手県河川情報システム 検索

- ① 水位情報**…最寄りの河川の水位を確認できます。避難判断水位や、氾濫危険水位と比較して、避難準備や、避難行動を行う目安としてください。
- ② 雨量情報**…降雨量を確認できます。今後どの程度水位が上昇するかの目安としてください。
- ③ カメラ画像**…リアルタイムで河川の状況を確認できます。水位情報と併せて確認し、避難準備や避難行動を行う目安としてください。

河川監視カメラ

河川情報システムから、河川の状況をリアルタイムで確認することが出来ます。

＜カメラ画像の確認方法＞
(箇所別表示)

- ① カメラ画像を選択します。
- ② 確認したい地区を選択します。
- ③ 確認したい観測所を選択します。

＜確認するポイントは？＞

- 平常時の画像と見比べ、橋や護岸などを目印に増水状況を確認しましょう。
 - 近傍に設置されている水位計の情報を確認しましょう。
- ※ 水位計の表示間隔は1時間と10分で切り替えられます。

メール・SNSによる水位情報の提供

河川の水位が高くなると、メール・SNSでお知らせします。

メール



いわてモバイルメール

LINE



岩手県公式アカウントへの登録方法

X(旧 Twitter)



X(旧 Twitter)への登録方法
配信アカウント一覧

QRコードを読み取り、メール・LINE・X(旧 Twitter)の配信(友達)登録をすることで、登録した地区の水位周知河川における氾濫危険水位(市町村長の避難勧告発令の目安)、避難判断水位(市町村長の高齢者等避難発令の目安)超過情報等を受け取ることができます。

⑤ ソフト施策（土砂災害）

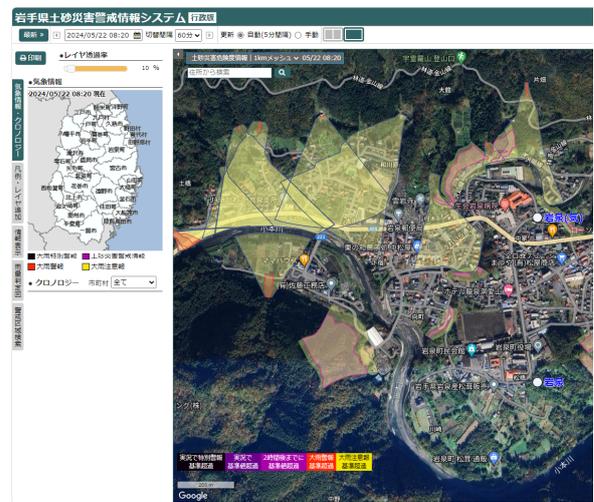
- 土砂災害のおそれのある区域の基礎調査結果を公表して危険性のある箇所を明らかにするとともに、土砂災害警戒区域等の指定などを進め、土砂災害に係るソフト対策の充実強化を図ります。

【令和7年度実施内容】 **安全・安心**

○ 新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」の基礎調査の推進

令和元年東日本台風において、岩手県内で発生した土砂災害98箇所のうち約2割の18箇所が土砂災害警戒区域外で発生したこと等を踏まえ、高精度な地形情報等を用いて、新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」の抽出を行い、令和5年度までに9,992箇所を公表しました。抽出箇所は、令和5年度から順次、基礎調査を実施し、その結果を公表した上で、土砂災害警戒区域等の指定を進めています。

市町村	土砂災害警戒区域等	新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」			市町村	土砂災害警戒区域等	新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」		
		昨年度公表箇所	今回公表箇所	計			昨年度公表箇所	今回公表箇所	計
盛岡市	576	231	130	361	住田町	497	23	192	215
滝沢市	30	30	0	30	遠野市	580	160	120	280
雫石町	142	32	29	61	釜石市	1,027	162	25	187
紫波町	110	22	12	34	大槌町	433	101	10	111
矢巾町	9	13	0	13	宮古市	1,259	528	235	763
葛巻町	346	28	141	169	山田町	372	197	0	197
岩手町	240	26	122	148	岩手町	946	90	315	405
八幡平市	153	42	66	108	田野畑村	164	88	0	88
奥州市	787	488	214	702	久慈市	614	122	346	468
金ヶ崎町	62	30	2	32	普代村	75	59	0	59
花巻市	526	483	240	723	野田村	46	32	0	32
北上市	249	73	76	149	洋野町	103	61	48	109
西和賀町	191	40	31	71	二戸市	388	108	128	236
一関市	1,160	1,814	1,374	3,188	軽米町	136	0	191	191
平泉町	95	97	2	99	九戸村	88	0	84	84
大船渡市	921	263	3	266	一戸町	295	66	188	254
陸前高田市	685	159	0	159					
					合計	13,305	5,668	4,324	9,992



【いわてデジタルマップ】 【土砂災害警戒情報システム】

○ 土砂災害警戒区域等の周知

地域の住民の方々等に土砂災害警戒区域等のより一層の周知を図るため、市町村と連携を図り標識設置など認知度向上の取組を進めていきます。



標識設置事例（陸前高田市内）



標識設置事例（釜石市内）

⑥ ソフト施策（津波） 安全・安心

- ・ 防災・減災を目的とした市町村の避難対策の見直し等の検討に役立てるため、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の津波浸水想定を公表しました。

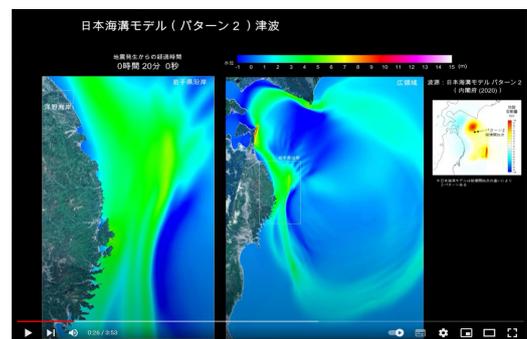
○ 最大クラスの津波浸水想定について

- ・ 最大クラスの津波とは、沿岸域に大きな被害をもたらす津波のことで、過去に実際にあった地震（①明治三陸地震、②昭和三陸地震、③東北地方太平洋沖地震）や今後発生することが予想される地震（④日本海溝モデル、⑤千島海溝モデル）による津波から決めたものです。
- ・ 悪条件下とは、潮位については朔望平均満潮位とし、地震に伴う地盤沈下や構造物の沈下・破壊を考慮し、防潮堤や水門等は津波が越えた時点で破壊させるという条件です。

【公表先】

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kasensabou/kaigan/1038410/1053312/index.html>

ホームページでは、市町村毎の浸水想定図のほか、地図上で浸水範囲が確認できるいわてデジタルマップや津波CG動画等のリンク先も掲載されています。



津波CG動画の一例 ▶▶

○ 岩手県地震・津波被害想定について

- ・ 津波浸水想定をもとに、岩手県 復興防災部では、最大クラスの津波被害の具体的な想定を市町村ごとに示し、地域ごとの効果的な減災対策を検討するための基礎資料とすること等を目的として、令和4年9月に「岩手県地震・津波被害想定調査報告書」を取りまとめ公表しました。

【公表先】

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/anzenanshin/bosai/jishintsunami/1059428.html>

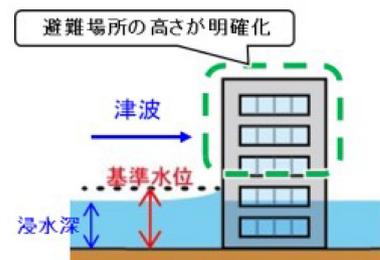
○ 津波災害警戒区域の指定について

- ・ 津波災害警戒区域とは、津波が発生した場合に住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域のことです。
- ・ 令和5年8月29日、本県の沿岸12市町村を対象に、津波浸水想定と同一の範囲を津波災害警戒区域に指定しました。

【公表先】

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kasensabou/kaigan/1038410/1068269.html>

- ・ 津波災害警戒区域内に土地利用や開発行為等に規制はかかりません。
- ・ 区域指定では、「基準水位」も明示しています。基準水位とは、津波が建物に衝突した際の「せき上げ」を考慮した高さのことで、津波避難ビル等の指定や整備に活用されます。
- ・ 基準水位は、5m四方毎に10cm単位で表示します。



基準水位等の考え方

2 災害に強い道路ネットワークの構築

- ・ 災害時に迅速な避難・救急活動や緊急物資の輸送等が行えるよう、緊急輸送道路の通行危険箇所やあい路の解消、橋梁の耐震化等を推進します。
- ・ 道路防災施設等の整備や適切な除雪、道路情報の提供などにより、信頼性の高い安全な道路網の確保を図ります。

【令和7年度実施内容】 安全・安心

○ 通行危険箇所やあい路の解消

一般国道282号 佐比内地区等の道路整備を実施

通行危険箇所の整備イメージ 一般国道282号 佐比内地区（八幡平市）



○ 橋梁の耐震補強

主要地方道一関北上線 中里橋（一関市）等の耐震補強を実施

橋梁耐震補強イメージ 主要地方道一関北上線 中里橋（一関市）



○ 道路防災事業

主要地方道水沢米里線 館山地区（奥州市）等の道路防災対策を実施

道路防災対策イメージ 主要地方道水沢米里線 館山地区（奥州市）



国道107号大石地区道路災害対応

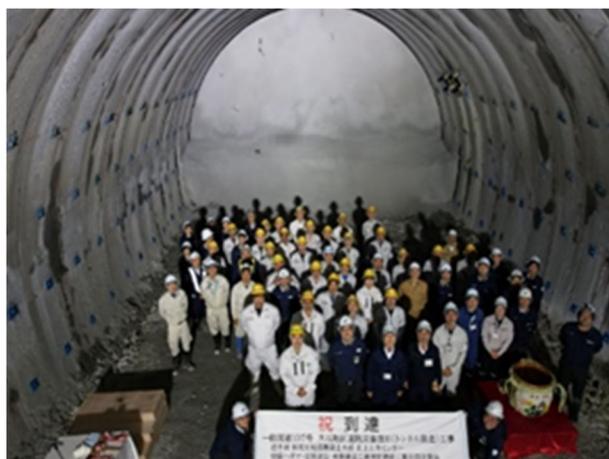
西和賀町大石地区の国道107号は、令和3年5月に発生した地すべりによって通行止めになりました。この復旧に当たっては、地すべり箇所を回避するトンネルで復旧することとしています。

地すべりの再発を抑制するための応急盛土、迂回路の仮橋の設置・供用（令和4年11月）と並行して準備を進めていたトンネル工事は、令和5年7月から本格的に掘削に着手しました。

引き続きトンネル工事等を進め、令和7年冬前までの供用を目指します。



西和賀町側坑口



トンネル
計画延長：1,448m
掘削延長：1,390m
（令和6年度末時点）

3 日常生活を支える安全な道づくりの推進

- 歩行者等の安全な通行を確保するため、通学路等への歩道設置や交通安全施設等の整備、自転車通行空間の整備を推進します。

【令和7年度実施内容】 安全・安心

○ 歩道の整備

一般県道久田笹長根線六原工区（金ケ崎町）等の歩道整備を実施



通学路における歩道の整備について

岩手県では、教育委員会、警察、道路管理者による「通学路における緊急合同点検」の要対策箇所に加え、各市町村が策定している「通学路交通安全プログラム」で緊急性が高い箇所の歩道整備を重点的に進めています。

合同点検の状況（一般国道282号）▶▶



令和3年度の通学路における合同点検

令和3年6月28日に千葉市八街市の通学路で下校中の小学生の列にトラックが衝突し、5人が死傷する交通事故が発生したことを受け、教育委員会、警察、道路管理者が連携して通学路における合同点検を実施しました。

合同点検では、この事故が見通しのよい直線道路で発生したものであったことから、新たな観点も踏まえて危険箇所の抽出を行い、道路管理者として県が対策を行う箇所は、岩手県内で113箇所確認されました。

この113箇所では、令和4年度末までに区画線や防護柵等の暫定的な対策が完了したことから、今後は、抜本的な対策を進めていきます。



合同点検の状況（一般県道沖田浜民線）
（一関市）

対策イメージ（交通安全施設等の整備） 主要地方道岩手平舘線 一方井工区（岩手町）



対策前



対策後

対策イメージ（車道分離標（ラバーポール）の整備）
主要地方道大船渡広田陸前高田線 天王前工区（陸前高田市）



対策前



対策後

自転車活用推進計画に基づく取組

自転車を活用した環境負荷の低減、健康増進、観光振興等の促進を目的として、令和3年3月に岩手県自転車活用推進計画を策定しました。

本計画では「利用環境」、「健康づくり」、「観光振興」、「安全安心」の4の取組分野を設定し、本県の実情に応じた目標を掲げるとともに、それぞれの目標を実現するための8の施策を実施します。

- 期間：令和3年度～令和7年度
- 対象地域：岩手県全域

I 利用環境 【目標】自転車の利用拡大のための環境創出

施策1 自転車通行空間等の整備・維持管理の推進

- ① 自転車通行空間等の整備
- ② 自転車通行空間や自転車道等の適切な維持管理
- ③ 道路標識や道路標示等の改善

施策2 まちづくりと連携した自転車利用環境整備の推進

- ① 市町村自転車計画等の策定支援
- ② 市町村による路外駐車場の整備等に対する支援
- ③ 地域のニーズに対応した駐輪場の整備促進
- ④ 市町村のシェアサイクル導入に対する取組への支援
- ⑤ 自転車利用を促進するための効果的な情報発信



自転車通行空間の整備状況(盛岡市)

II 健康づくり 【目標】自転車利用の促進による健康増進

施策3 サイクルスポーツ振興の推進

- ① 自転車関連の大会等の開催の促進
- ② タンデム自転車の公道走行に関する検討
- ③ 自転車利用を促進するための効果的な情報発信(再掲)

施策4 自転車を活用した健康づくりの推進

- ① 自転車を活用した運動習慣の定着による体力の維持・向上
- ② 自転車通勤の促進
- ③ 自転車利用を促進するための効果的な情報発信(再掲)



自転車関連大会の実施状況
(さたかみ夏通高車ヒルクライム)

III 観光振興 【目標】サイクルツーリズム等の推進による観光振興

施策5 地域資源を生かしたサイクルツーリズムの推進

- ① 官民連携による広域的なサイクリングルートの整備
- ② サイクルツーリズムを業しむ観光客の誘客促進
- ③ 自転車通行空間等の整備(再掲)
- ④ 自転車利用を促進するための効果的な情報発信(再掲)

施策6 地域特性を生かしたサイクリング環境の提供

- ① 道の駅等のサイクリング環境の向上
- ② サイクリストと連携した快適なサイクリングルートの確保
- ③ サイクルトレインの実施への支援
- ④ 自転車利用を促進するための効果的な情報発信(再掲)



道の駅くずまき高原のサイクルラック設置状況

IV 安全安心 【目標】自転車を安全に安心して利用できる社会の実現

施策7 自転車の安全利用の促進

- ① 安全な自転車利用の促進に向けた交通安全指導
- ② 交通安全意識高揚に向けた広報啓発
- ③ 違法駐車に対する規制等の検討
- ④ 災害時における自転車活用の検討
- ⑤ 自転車通行空間等の整備(再掲)

施策8 学校における交通安全活動の推進

- ① 児童生徒の安全な自転車利用促進に向けた交通安全教室の開催
- ② 高校生の自転車通学ルートの安全点検
- ③ 自転車通行空間等の整備(再掲)



「子どもと自転車」交通安全教室
「子どもと自転車」交通安全教室
「子どもと自転車」交通安全教室
「子どもと自転車」交通安全教室

自転車の安全利用推進期間の実施による
自転車利用者の安全意識の高揚

自転車通行空間等の整備

市町村が定める自転車ネットワーク計画に位置付けられた県管理道路等の自転車通行空間の整備を推進します



主要地方道盛岡横手線 矢羽根の整備
(盛岡市)



主要地方道盛岡停車場線 矢羽根の整備
(盛岡市)



一般県道氏子橋夕顔瀬線 矢羽根の整備①
(盛岡市)



一般県道氏子橋夕顔瀬線 矢羽根の整備②
(盛岡市)